



ジャン・コクトー「アルチュールランボー」一九六二年 リトグラフ ©ADAGP Paris & SPDA Tokyo 2011

あなたは知っていますか？詩に寄り添う版画を作りあげた美術家たちがいたことを。

フランスの詩と版画

ひびきあう魂の航跡

2011年

6月18日(土)～8月7日(日)

月曜休館(ただし7/18[海の日]は開館、翌7/19[火]休館)

【平日】10:00～17:00(入館は16:30まで) 【土・日・祝日】10:00～17:30(入館は17:00まで)

観覧料 一般600(500)円/大学生・高校生300(200)円/65歳以上300(200)円
中学生以下無料

* ()内は20名以上の団体料金

* 身体障がい者手帳または愛の手帳等をご持参の方と付き添いの方1名は半額

* 展覧会初日6/18[土]は無料



町田市立国際版画美術館

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1 Tel.042-726-2771・0860
小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩15分

フランスの 詩と版画

ひびきあう魂の航跡

あなたは知っていますか？ときには甘く優しいエスプリを奏で、ときには毒にあふれる一節を紡いだ、個性あふれる詩人たちがいたことを。

あなたは知っていますか？かれらの才能に魅了され、その言葉と向き合いながら、詩に寄り添う版画を作りあげた美術家たちがいたことを。

ふたつの魂がひびきあい生まれた作品は、芸術という大海原のなかに、ひとつの航跡を残しました。

時よ、来い、
ああ、陶酔の時よ、来い。
(ランボー／小林秀雄訳『地獄の季節』より)

ボードレールやヴェルレーヌ、ランボー、ロートレアモンなどで知られるフランスの詩。その豊かな世界は文学という枠を超えて、多くの美術家にインスピレーションを与えてきました。20世紀以降、こうした詩に挿絵を添えた版画集が数多く制作されるようになり、たくさんのお愛好家たちを魅了しています。

この展覧会では、ヴェルレーヌの詩にモーリス・ドニが挿絵を制作した版画集『歡智』、ロートレアモンの詩にサルバドール・ダリが挿絵を寄せたシュールレアリスムの記念碑的な作品『マルドロールの歌』、ランボーの代表作『地獄の季節』から着想したマッタの銅版画集など、約180点の版画作品をご紹介します。



②

主な出品作品

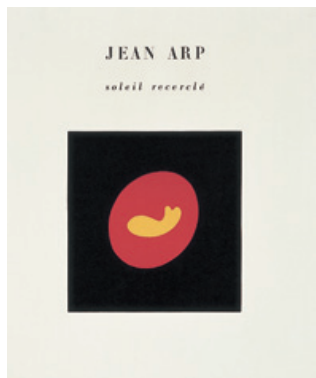
- ・モーリス・ドニ『歡智』(詩:ヴェルレーヌ)1911年刊、木口木版
- ・サルバドール・ダリ『マルドロールの歌』(詩:ロートレアモン)1934年(1974年刊)、銅版
- ・ジョルジュ・ルオー『受難』(詩:シュアレス)1939年刊、銅版
- ・ジョルジュ・ルオー『悪の華のために』(詩:ボードレール)1966年刊、銅版
- ・ベルナルド・ピュフェ『マルドロールの歌』(詩:ロートレアモン)1952年刊、銅版
- ・パトリック・コールフィールド『ジュール・ラフォルグの詩』1973年刊、スクリーンプリント
- ・マッタ『地獄の季節』(詩:ランボー)1978年刊、銅版
- ・山本正文『未完の薔薇園』(詩:ビュートル)1999年刊、銅版



①



③



④



⑤



⑥

- ①バブロ・ピカソ『アルチュール・ランボー』1960年、リトグラフ ©2011-Succession Pablo Picasso-SPDA (JAPAN) ②マルク・シャガール『以心伝心』より、1976年刊、銅版 ©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2011, Chagall®
③モーリス・ドニ『歡智』より、1911年刊、木口木版 ④ジャン・アルプ『囲われた太陽』より、1966年刊、木版 ©BILD-KUNST, Bonn & APG- Japan / JAA, Tokyo, 2011 ⑤サルバドール・ダリ『マルドロールの歌』より、1934年(1974年刊)、銅版 ©Salvador Dali, Fundacio Gala-Salvador Dali, VEGAP & SPDA, 2011 ⑥マッタ『地獄の季節』より『僕はさまざまな眩暈(げんうん)を定着した』1978年刊、銅版 ©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2011

関連催事

◆館長によるスペシャル・ギャラリー・トーク

6月26日(日)午後2時より40分程度
※観覧券をご用意の上、2階企画展示室入口にお集まり下さい。

◆学芸員によるギャラリー・トーク

7月3日、17日、31日、8月7日 いずれも日曜日、午後2時から40分程度
※観覧券をご用意の上、2階企画展示室入口にお集まり下さい。

◆学芸員によるスライド・レクチャー

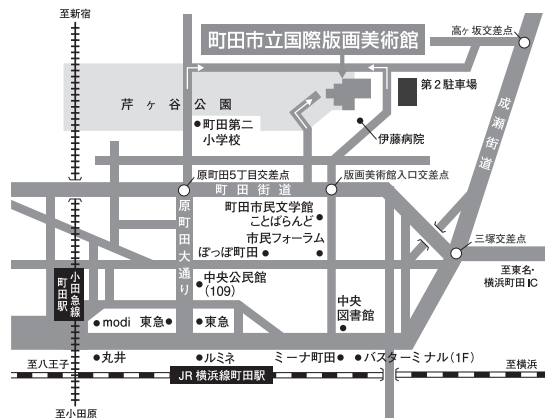
6月19日(日)、7月2日(土)、7月16日(土) 会場:美術館講堂
※聴講無料。ただし企画展ご観覧の方が対象です。

◆美術館で語りあおう～トークフリーデー

展覧会初日を除く水、土曜日
「鑑賞のための静けさ」よりも作品をめぐる会話を楽しんでいただこうという試みです。
小さなお子さま連れの方も気兼ねせずにご入場ください。

同時開催

- ミニ企画(入場無料) 2011年6月15日(水)～9月25日(日)
①素朴な美—フランスの民衆版画 ②シリーズ<現代の作家>長谷川潔
※このフライヤーの情報は、電力供給等の諸事情により変更される場合があります。



小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩15分

町田市立国際版画美術館

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1
Tel.042-726-2771・0860 <http://hanga-museum.jp>